

令和5年9月25日

令和5年

第9回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和5年9月25日（月曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（11名）

教育総務部長		今 井 健太郎
参事（教育施設担当）		河原田 光
教育総務課長		鈴 木 孝 司
教育施設担当課長		田 中 佑 典
副参事（教育地域力担当）		長 岡 誠
学務課長		大 竹 豊 和
指導課長		細 田 真 司
指導企画担当課長		木 下 健太郎
学校支援担当課長		鈴 木 啓 介
教育センター所長		早 田 由香吏
大田図書館長		後 藤 清

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

~~~~~

(午後2時00分開会)

○教育長

ただいまから、令和5年第9回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は、傍聴希望者がございます。  
委員の皆様は傍聴の許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に弘瀬委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。  
続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

本日は、3点報告させていただきます。

1点目は、8月29日に行われた、野辺山学園の閉園記念行事についてです。大田区立野辺山学園は、昭和48年9月に、都会に住む大田区のこどもたちに豊かな自然の中で生き生きとした体験活動をさせたいという願いのもと開園いたしました。以来、約半世紀にわたり、大田区の中学生在が移動教室として、また青少対などの活動を通して多くのこどもたちが自然に親しみ、集団生活を通して友達との友情を深める貴重な教育の場となってきました。しかし、野辺山で学園を運営する環境を十分に整えることができない状況等により、やむなく閉園いたしました。

今回の記念行事では、町長など、これまでお世話になった野辺山の関係の方々をお招きし、大田区として感謝の意を伝えるという行事となりました。

記念式及び懇親会では、建物があつた頃の映像や、これまでのこどもたちの活動の様子が投影され、自然豊かな野辺山における体験活動がいかに貴重な体験だったか、よく分かったところがございます。

野辺山学園での宿泊体験活動は終わりましたが、現在も野辺山の民間施設等を使った移

動教室は実施されており、引き続いて、野辺山の皆さんとの交流は大切にしていきたいと思いました。

また、こどもたちの宿泊体験は、引き続き重要な教育活動でありますので、その充実を図っていきたいというふうに思っています。

野辺山学園の運営を長年担っていただいた、井出さんという当地の方には、大田区教育委員会から感謝状をお渡しいたしました。

2点目は、中学校連合陸上大会についてです。9月14日、駒沢の陸上競技場で、中学校28校の代表選手による陸上競技大会が行われました。当日は、まだ夏のような強い日差しでございましたけれども、晴天の下で、それぞれの中学校の代表選手という形で競い合う様子を見せていただきました。

駒沢の陸上競技場は、1964年の東京オリンピックのときに建設された競技場ですが、非常に芝生、トラック等もすばらしい陸上の環境がございました。生徒たちは、すばらしい会場で思い切り競技に臨むことができたと思っています。生徒たちにとって、かけがえのない大会、体験ができたというふうに思いました。これらの行事につきましては、確かに準備や当日の運営など、多くの教員、先生方の協力、労力がかかっております。しかしながら、生徒たちにとっては、非常に貴重な経験を積む、よい体験の場となってございます。

今のこどもたちの状況を見ますと、中学生、思春期を迎え、それを乗り越えていく、様々な形で気を遣いながら、なかなか厳しい状況、難しい状況もあるかと思っておりますけれども、今後も中学生が経験を広げて、自信を持って、自己肯定感を高めていく、そういう場を確保していくことに取り組んでいきたいというふうに思いました。

最後に、区議会の第3回定例会が9月14日から開会されております。私は代表質問という形で答弁させていただいておりますけれども、非常に多岐にわたる質問がございます。不登校への取組について、学力や体験の教育格差への対応、地域力を生かしたSTEAM教育の在り方、こどもの個性を伸ばし、こどもの尊厳を守る教育の在り方、学校防災体制の進捗状況、ビジネスリテラシーにつながる能力の育成、それから学校の自殺防止の取組、教員不足への対応など、非常に多岐にわたる質問内容に答えさせていただきました。

また、一般質問につきましては、教育総務部長が答弁いたしました。

そして、28日からは決算特別委員会が開かれ、令和4年度の決算の審議が行われるところでございます。

私からの報告は以上です。

ただいまの報告、説明につきまして、ご意見、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

### ○三留委員

ただいま、教育長から野辺山学園の閉園行事についてのお話がありました。私も参加をさせていただきました。会場となったのはベジタボール・ウィズとあって、南牧村の農村文化情報交流館というところなのですが、その屋上からは、解体された野辺山学園の跡地が見られました。改めて豊かな自然の中に学園があったと感じました。

式典では、野辺山学園を使用した移動教室のあゆみが放映されておりました。昭和50年

代から令和に至るまでの長きにわたって、こどもたちの豊かな自然活動、集団宿泊体験を支えてきたと実感をいたしました。

地元の皆さんとも交流する機会がありましたが、皆さんの多大な協力とこどもたちへの思いを感じたところです。

野辺山学園はなくなりましたが、近辺の民間施設を使った多くの中学校の移動教室は続きます。地元自治体、民間の皆様これまでの連携の絆を生かして、より一層移動教室の充実を図っていただきたいと思います。

#### ○高橋委員

私も野辺山学園の閉園記念行事に参加させていただきました。三留委員もおっしゃったように、交流館の屋上から、更地になった囲いのある跡地を見て、とても感慨深かったです。

青少対の行事であるリーダー講習会の宿泊体験や研修などで何度か利用させていただいておりましたので、そのたびごとの思い出がよみがえり、南牧村の方々と交流できたことはとても良かったと思います。

また、南牧村の皆様が、大田区へとても温かい思いを持っていただいていたようで、こどもたちも安心して宿泊体験ができたのではないかなと思います。感謝の気持ちを伝えられる機会をいただいたことを感謝しております。ありがとうございました。

#### ○北内委員

私も8月29日、野辺山学園の閉園記念行事に出席させていただきました。教育長からもありましたが、学園自体は閉園しましたが、引き続き、大田の生徒は野辺山でロッジに宿泊しながら体験学習させていただいています。当日、村の方たちとも交流することができ、南牧村村長さんからは、村の高原野菜の6割近くが大田市場に出荷されており、これからも引き続き交流は深めていきたいと、ありがたいお言葉をいただきました。また、牧場代表の方、ロッジ支配人の方、野辺山学園管理人の方からは、当時と最近のこどもの様子を伺うことができました。

次に、9月14日、駒沢オリンピック公園での大田区立中学校陸上競技選手権大会に出席させていただきました。当日、天候にも恵まれ、良い記録が出たと伺っています。また、生徒たちは、日頃の練習の成果を発揮できたのではないかなと思います。

9月15日に、特別支援学級の視察をさせていただきました。出雲小学校で、本区が進める個別最適な授業の実施に関して、指導課にお願いして視察をさせていただきました。

概ね3教室あって、必要に応じて教室内をパーティションで区切って、一人一人に合った授業をきめ細かく進めてくださっていました。私自身、見た感じ、保護者たちもこれなら安心されるだろうなと感じました。

特別支援というと、ちょっとネガティブなイメージがあるかもしれませんが、実際に授業を拝見すると、やはり児童一人一人に合った授業をしていただいていたので、最適な指導が行き届いていると感じました。

#### ○深澤委員

先日、報道で校長が児童のわいせつな画像を所持していたという報道がありましたので、それに関してお話をしたいと思います。法律を調べましたら、令和4年4月から、教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律が施行されておりました。その中で教職員等は、児童・生徒に性暴力等をしてはならないと規定されています。これは本当に当たり前のことなのですが、当たり前のことを法文化したということです。

また学校は、その責務として、学校全体で教職員等による児童生徒性暴力等の防止や早期発見に取り組むべきものとされています。校長は、率先して教職員がそのような行為に及ばないように防止する立場にあり、責任のある地位にあります。今回のような事件が起きてしまったということは非常に残念なことで、あってはならないことであると感じました。

これに関しては、文部科学大臣も基本方針を出しておられて、その中で教職員の啓発、児童・生徒への啓発が大切だということがうたわれておりました。ほかにも、その防止策でありますとか、万が一起こってしまった場合の対応策であるなど、基本方針にはいろいろ書かれておりましたけれども、当区においても、この事件を他山の石とすることなく、子どもたちを守るために様々な対応をしていくべきであると、今回の事件報道を見て感じました。

#### ○弘瀬委員

9月7日に、市町村教育委員会研究協議会にオンラインで参加いたしました。当日、欠席者があり、チーム変更のため協議会が始まるまでに時間がかかりました。

テーマについてそれぞれが発表をし、それをリーダーが総括して、その中からさらにテーマを絞って発表することになっていましたが、時間がなくて、十分なディスカッションができなかったのが残念でした。最後に二つから三つほどのグループのリーダーが自分たちのグループでの話合いの結果を発表し終了しました。本来なら全てのグループからの質問、提案に答えてくれることになっていましたが、時間が無く終了してしまいました。やり方自体に問題があると思いました。無駄な時間を過ごしたと思っております。

出席した先生たちの中で、画面共有を利用していました。画面共有する資料を作っておくと、ディスカッションが進むように思われました。私は、いじめと部活動の在り方をテーマにした協議会に参加しましたが、話題によって画面共有を有効に活用し、その画面を見ながら説明する方が、インパクトがあるように思えました。次回から、もしウェブでやるようでしたら、画面共有をうまく活用するのもよいのではないかと考えました。

それから、夏休みが終わって、子どもたちが元気に登校し始めた矢先にインフルエンザの爆発的な流行が起ってしまいました。いまだに収束が見られず、私の診療所でもコロナとインフルエンザに罹患の方が大体半々ぐらいです。診療所では子どもたちはインフルエンザ、大人はコロナという感じです。ここ数年、インフルエンザの予防接種受けていないお子さんたちも多いと思いますが、今年度はぜひ予防接種を推奨していきたいと思っております。

マスクと手洗いは感染症の流行時にはぜひやってもらいたい基本的なことです。特に、人が密になる場所、換気が悪い場所ではぜひマスク着用はやってほしいと思います。

### ○三留委員

先月の末に、中央教育審議会の質の高い教師の確保特別部会から、教師を取り巻く環境整備についての緊急に取り組むべき施策として提言がありました。これを受けて文部科学大臣からもメッセージが出されているところです。

教師を取り巻く環境整備については、都道府県、市町村、各学校が、それぞれの権限と責任に基づき主体的に取り組む必要があるとして、三つの緊急提言が出ております。

学校教師が担う業務の適正化、学校における働き方改革の実効性の向上、持続可能な勤務環境整備の支援の充実、この3点です。

前文には、スクラップ・アンド・ビルドを改めて徹底して、学校が働きやすさと働きがいと両立する職場にすることが重要としております。服務監督教育委員会、大田区教育委員会はこれに当たるわけですけれども、主体的に役割を果たす必要があるとしています。

大田区は、いち早く大田区立学校における働き方改革推進プランを策定して、人材派遣など全体的に進んだ取組がされていると思っておりますが、今後、改善、新たな施策の余地があると思っております。

この提言には、具体的な取組例も示されています。予算編成、プラン策定にあたり、これらを勘案して、教師を取り巻く環境の整備をしっかりとやっていただきたいと思っております。

### ○教育長

よろしいですか。

それでは、本日はこれもちまして、令和5年第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時19分閉会)

令和5年 第9回 教育委員会 定例会 9月25日(月) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

- 教育総務部長
- 参事（教育施設担当）
- 教育総務課長
- 教育施設担当課長
- 副参事（教育地域力担当）
- 副参事（施設調整担当）
- 学務課長
- 指導課長
- 指導企画担当課長
- 学校支援担当課長
- 教育センター所長
- 幼児教育センター所長
- 大田図書館長



令和 5 年 9 月 25 日

令和 5 年第 9 回教育委員会定例会日程

日程第 1 教育長の報告事項